

「第2期北海道スポーツ推進計画」令和4年度（2022年度）関連施策【概要版】

資料3-1

スポーツ王国北海道 ～「スポーツの風」で未来を開く～

「第2期北海道スポーツ推進計画」（H30.4策定）に基づき、
5つの重点施策の柱を中心に、計画を効果的に推進
令和4年度（2022年度）関連事業予算
29事業 5,601百万円

柱1：スポーツで変わる北海道民

- ◆ 様々な世代のライフステージに応じたスポーツ活動の推進
 - ・ スポーツをする・みる・ささえる促進事業費 **2,641 千円**
(スポーツに親しむ環境整備)
総合型地域スポーツクラブ育成支援のため、指導者派遣等を実施
 - ◆ 幼少期からのスポーツ機会の充実と子どもの体力向上
 - ・ スポーツ王国北海道事業費 (チャレンジ教室・ペアレンツスクール) **2,915 千円**
本道ゆかりの選手等を講師に招き、体験型教室を開催
 - ◆ スポーツに親しむ場の確保
 - ・ 北海道立総合体育センター管理運営費 **240,508 千円**
北海道立総合体育センターの効率的運営を図るため、指定管理者制度導入
 - ◆ スポーツをみる・ささえる応援文化の構築
 - ・ スポーツをする・みる・ささえる促進事業費 (スポーツ観戦等の機運醸成) + 北海道マラソン・ソウル国際マラソン交流事業費 **3,205 千円**
本道ゆかりのスポーツ選手等による体験型教室の開催、北海道マラソンとソウル国際マラソンとの交流
- など

柱2：スポーツで変える地域・経済・共生社会

- ◆ スポーツでつくる優しい共生社会
 - ・ 北海道アウトドア活動振興環境整備事業費 **368 千円**
北海道アウトドア資格制度の運営等のアウトドア活動を支える基盤づくり
 - ◆ スポーツによる地域活性化
 - ・ 障がい者スポーツ振興費 **31,927 千円**
障がい者の体力維持や残存能力の向上等
- など

柱3：「どさんこ選手」の国際競技力の向上

- ◆ 競技力向上に向けたアスリートの強化、指導者の充実
 - ・ 全国障害者スポーツ大会派遣事業費 **22,586 千円**
全国障害者スポーツ大会への北海道選手団の派遣
 - ・ 国民体育大会派遣費 **86,333 千円**
国民体育大会への北海道選手団の派遣
 - ◆ 世界に羽ばたく次世代アスリート強化、指導者の充実
 - ・ スポーツ王国北海道事業費 (有望選手発掘・育成事業) **6,850 千円**
中高生を対象に有望選手を発掘・育成する事業に対する大学の協力等
 - ・ 北海道パラスポーツ連携促進事業費 **6,808 千円**
パラアスリートの発掘プロジェクト等
- など

柱4：スポーツを通じた人づくり

- ◆ スポーツ人材の働く環境づくり
 - ・ スポーツ競技力向上推進費補助金 **65,031 千円**
指導者研修、選手の強化合宿、医・科学サポート事業等
 - ・ スポーツをする・みる・ささえる促進事業費 (セカンドキャリア形成促進) **700 千円**
引退選手の活躍促進に向けたセミナーの開催
- など

柱5：東京2020オリパラの開催等による北海道レガシーの創出

- ◆ 東京2020オリパラ開催による好機の活用
 - ・ ジュニアスポーツアスリート強化育成事業費 **24,626 千円**
将来トップ選手として活躍できる可能性のあるジュニアの強化合宿
 - ◆ 札幌冬季オリンピック・パラリンピック競技大会の機運醸成
 - ・ スポーツ王国北海道事業費 (有望選手発掘・育成事業) **6,850 千円**
中高生を対象に有望選手を発掘・育成する事業に対する大学の協力等
- など